



蓼高フオトニュース

No.

85



地域と共に知恵と勇気を育む

長野県蓼科高等学校

平成 30 年 3 月 2 3 日 発行

平成 29 年度卒業証書授与式 挙行



暖かい日差しが増え、春を感じる季節になりました。とうとう、私たちがこの蓼科高校を卒業する日がやってきました。

本日は、私たち卒業生のためにこのような素晴らしい卒業式を開いていただき、心より感謝いたします。先程は、来賓の皆さま、校長先生、在校生一同から心温まるご祝辞を頂戴し、身の引き締まる思いです。思い返せば3年前、この場所で入学式を迎えたあの日から、いろいろなことがありました。最初のころは、不安な事だらけでしたが、1ヶ月も経てばクラス内、学年ともに仲間ができて楽しい毎日へと変化してきました。そして、部活動やその他の活動では、たくさんの先輩方や先生方に、とても優しく、そしてとても楽しく接していただきました。そのおかげで高校生活を充実させることができました。蓼科高校は決して大きな学校ではありません。しかし、その大きさ故に、学年やクラスの壁を越えることができ、生徒一人ひとりが輝けるのがこの学校の最大の特徴だと私は思います。それは他の学校にはないとても良い特徴だと思います。学校行事の際には、立科町の皆様や保護者の方々の協力があったからこそ私たちが楽しむ事ができました。

私たちが18年間、育ててくれたお父さん、お母さんにはとても感謝しています。今まで本当にありがとう。また、3年間、私たちを見守ってくださった担任の先生方をはじめ、諸先生方にはとてもお世話になりました。たくさん怒られましたが、今となってはよい思い出です。在校生の皆さん、次は皆さんがこの蓼科高校を引っ張って、新しく作り上げる番です。これから、たくさんの壁にぶつかることでしょう。ですが、仲間と協力し乗り越えていってください。そして蓼科高校の伝統を守りつつ新しい事にどんどんチャレンジしていってください。私たち卒業生は今日旅立ちます。蓼科高校での3年間は、この先何十年と忘れる事がないでしょう。卒業生一同この先も精進して参ります。これからも応援よろしくお願い致します。

最後になりましたが、来賓の皆さま、保護者の皆さま、校長先生をはじめ諸先生方のご健勝と、蓼科高校の更なる発展を、心から祈りつつ、答辞の言葉とさせていただきます。

平成 30 年 3 月 3 日 卒業生代表 佐藤 暖



卒業証書授与式の後の最後のHRでは、各担任が卒業生に向けて、卒業を祝う詞とともに「幸あれ」とこれからの人生にエールを送りました。



3学期(2月・3月)の学校生活を振り返ります

3月2日(金)

3年生を送る会



3年生を送る会が卒業式の前日に行われました。2年生の生徒会執行部が中心となって、企画と運営を行いました。

思い出の映像や先生方からのメッセージ等から3年生は3年間を振り返り、1・2年生は、先頭に立って蓼科高校を引っ張ってきてくれた3年生との最後のひとときに感謝の気持ちを込めて楽しんでいました。

3月18日(日) スプリングコンサート

JAZZ☆CANDY from 蓼科高校ジャズクラブ



本校のジャズ部とOB・OGで構成された「JAZZ☆CANDY」が3年ぶりとなるスプリングコンサートを東御市のサンテラスホールで開催しました。クラブの立ち上げから20年にわたり顧問をしてきた齋藤先生の勇退コンサートでもあり、ホールは立ち見も出るほどの盛況で、会場が一体となってスウィングしました。

2月21日 ミニコンサート

「音楽Ⅱ」
で、東京芸大
生による
サクソフォ
ーン四重奏



1・2年進路行事

1・2年生が特別時間割を使って「キャリア教育(進路行事)」を行いました。各専門分野の講師の先生の話をお聞きし、自分の進路としっかりと向き合いました。

お世話になりました。(平成29年度末で転退任する常勤職員)

- 栗山 嘉章(教頭:松本県ヶ丘高校)
- 高地 貞夫(国語:佐久平総合技術高校) ○齋藤 研郎(地歴公民:退職)
- 芹沢 隆(保健体育:上田高校) ○青木 豊美(英語:小諸高校)

